係ある

かしと

當ない。

そな

と随ば

460

烈にあ

にっる

なの

るで

v

これ

用をした。

的なる

景 民流 民流 の 府・遺済

れの陣地を敵

横行に変われて、

三・一五事件の下半に(川本代談上の下半に(川本代談上の下半に) 地土の下半に 一五事件の下半に 一五事件の下十二事件の下本

took 又それがない ではした制容であれば、ブルジョア にはした制容であれば、比談ととして はした制容であれば、ブルジョア

本氏のがいた。

農民のたれた

胸に白き

香門朝子他" 凌王刊歌れ、 電子解子の 元次り 行。 電子解子の 元次り 行。 とと、 震に民人の 」れれ、 軍子展子製 3 あ、行際

ものがある、

こ、 気の通り

に闘争 るの ō

あ後に、後級に ちず 比の 第一公子 と後級: 議

ま五

極りの

事じわ

を印領され、

何を開

時におり、

あ上の開発しまる程制を

で

水流

程、勒、音音量》

く響記層外恐 來百。生才士もヨて麼主統と しの念のな怖勞のの 義ル山勇ア<u>、</u>の義をり

V

五記念週 勞農 間を前 衆

し、や評

エの下手人ブルジ 以の下手人、山本3 一五の下手人、同 黨の組織及活動の 勘さ

衆的參加

|| 密集圏の組織等が各所に計 整明書等が、 れつ 労働組合、 發

上つてゐる。 參加 の氣運は全國的に の大 ĸ 次一らナ タ農 70 ×政 ×府

と會員 行合厳理られずけ族重めんしき春

せ良機 復て染野ヤ八 けば道ゆく撃はなる警戒を先頭に出るい、板が多数でを光頭に出るとする人々はいるとする人々はいるとなった。 遺骨 驛モ喰肥に のノびえは 一共猿たい

78. る眼を光らせ 爲め階の にた級着 数故闘物 百山争で 勞宜のの た

等のの徘つ 合りにのな はつをなど

裡しのらいの

志仕にれ 取れ出いでのでは、 でであるないでは、 ないでは、 のでは、 動いのでは、 のでは、 のでは

依り、日十一

いうちょ同志いに楽んだ同志いい。 のうちょ同志ののでは、光輝ないである。 のうちょ同志ののでは、光輝ないでは、光輝ないでは、光輝ないでは、光輝ないでは、光輝ないでは、光輝ないでは、光輝ないでは、

最に得り策さ のなは、 真に様に、

を受ける。 ・ では、 ・ でも、 ・ できる。 ・ でも、 ・ できる。 ・ でも、 ・ できる。 ・ でも、 ・ でも

その

と当にす

對抗

今に特殊なる でと、級士国にたる

厳X×の

×黨組織及活動・ 田!

Ø

O

結片發:

般 **数 值** 经

議のに五

いめ数り

勞る剖宜 の涙れト農園にの